



昭和57年 2月号

# 金木 だより

発行 金木町役場 編集 企画室



## 初げいこに快い汗

金木町少年相撲愛好会（伊丸岡勇会長）主催の少年相撲教室初げいこが農業者トレーニングセンターで行われ、参加した子供たちはげいこに汗を流しました。

この相撲教室は昨年十月から、スポーツを通して心身を鍛え、青少年の健全育成を目的に行われているもので、現在、小学校四年生以上の子供たちが三十五人います。

同トレーニングセンター相撲場に、田中町長はじめ父兄の方々が五十人が集まり、はじめに田中町長が「相撲を通して体・技だけでなく心も鍛え、一生懸命げいこして下さい。」とあいさつ。そのあとげいこに入りました。最初は体をふるわせながら「シコ」を踏んでいた子供たちも、二チームに別れて勝ち抜き戦になると「お願いします」「ありがとうございます」と元気な声を出し、観戦する父兄の方々からも暖かい声援が送られていました。

### 町の動き

▼1月

1日(金) 町民元旦 集い

3日(日) 消防団出初式

4日(月) 御用始め

6日(水) 金木町少年卓球大会

8日(金) 金木町少年相撲初げいこ  
第2保育所修祓式

11日(月) 喜良市老人福祉センター修祓式

12日(火) 自然休養村管理センター修祓式

### 町の人口と世帯数

男	7,242人
女	7,445人
計	14,687人
世帯数	3,893世帯

(S57.1.31現在)

# 支払共済金6億円余

## 水稻被害に対して



「被災農家の頼みの綱」ともいふべき農業共済金の支払い額が当町では約六億円と決まりました。

昨年は四月から続いた異常低温、集中豪雨及び台風十五号等の影響で、水稻をはじめとする農作物は大きな被害を受け、二年続きの冷害となりました。

その過程で町当局は、町の各関係機関との連携を強化するために「金木町農作物異常低温対策連絡会議」(会長沢田助役)、「昭和五十六年産農作物災害金木町対策本部」(本部長田中町長)を設置し、被害農家救済に全力を挙げてきました。

### 被害総額十三億円

異常低温に続き七月には、ヘクタールが水をかぶり、更に八月二十二日からの大雨に加えて二十四日には台風十五号の直撃を受け、農作物の冠浸水は水稻一七〇ヘクタール、転作飼料作物一〇〇ヘクタール、転作大豆四五二ヘクタール、葉たばこ三ヘクタール、野菜類一ヘクタールにも及びました。

また、台風十五号の強風で葉たばこ乾燥施設のパイプハウス全壊五六棟、半壊一〇棟、葉の損傷六八ヘクタールの全耕作面積が被害を受け、水稻も白穂、かっ変症状が続出しました。りんごの被害状況は金木全域にわたりデリ系が最も多く、落下数合わせて三万二、〇〇〇箱にも及び、農作物の被害総額は十三億四千六百万円に達しました。

### 共済金の早期支払いを陳情

町では、被害が甚大なことから町対策本部が中心となって被災者救済のため、国、県並びに農業共済連、食糧事務所、農林漁業金融公庫支店等への陳情を行ない、共済金の早期支払いを働きかけてきました。

#### 共済金が支払われるまで

(1)農家から被害申告を受けた組合等は、申告のあった水田を一筆ごとにすべて調

### 祝昭和57年町民元旦の集い



### 町民元旦の集い

今年は一〇九名が参加

- 一月一日、中央公民館において、恒例の「町民元旦の集い」が開催されました。
- 同日午前十一時に町民の方々一〇九名が出席し君が代斉唱、年頭の辞、各界年頭の抱負などが行なわれたあと祝宴に入り、今年の抱負などを語り合っていました。
- 今回の出席者は次のとおりです。
- |       |       |
|-------|-------|
| 阿部 定一 | 伊丸岡 勇 |
| 伊藤 久雄 | 今別 幸正 |
| 伊藤 徳衛 | 泉谷 照正 |
| 大橋勇五郎 | 小野 祐蔵 |
| 小田桐喜吉 | 大佐賀幸雄 |
| 太田 助七 | 太田 徹  |
| 大橋 隆治 | 逢坂 伸三 |
| 小山内 等 | 小山内武夫 |
| 大谷 征志 | 加藤 卓爾 |
| 加藤 丈則 | 神成 忠尚 |
| 片岡八千雄 | 角田 良逸 |
| 角田 昭次 | 角田 惇  |
| 角田 金男 | 木村 静逸 |
| 菊地健次郎 | 柳引 政雄 |
- 秋元 武治 荒関 通義  
秋元 常貞 浅木 全一

申告期限は3月15日まで

○所得税・贈与税の申告

贈与税の申告は2月1日から、所得税の確定申告は2月16日から、それぞれ受付が始まっています。どちらも申告期限は3月15日ですが、期間間近になりますと、税務署は大変混雑しますので、申告はできるだけ早く済ませるようにしてください。

〈所得税の申告と納税〉

所得税の確定申告をしなければならない人は、事業をしている人、不動産収入のある人、土地や建物を売った人などです。

所得税の納税は、申告期限と同じ3月15日までしなければなりません。なお、口座振替や延納制度もありますので御利用ください。

また、確定申告期間中は、税務署のほかに市町村や税理士会でも無料で申告の相談に応じています。

〈贈与税の申告と納税〉

贈与税は個人から財産をもらったときに、もらった人にかかる税金で、昭和56年中に個人からもらった財産の価格の合計額が60万円を超える場合は申告しなければなりません。

なお、納税も申告と同じように3月15日までしなければなりません。一定の要件のもとに延納制度がありますから御利用ください。

詳しくは、最寄りの税務署や税務相談室へお尋ねください。

保険料が5,220円に

○国民年金の保険料

現在、国民年金の保険料は4,500円ですが、今年の4月から1カ月分が5,220円に変わります。これは、老齢年金の受給者が増え続けていくのと、年金額が物価上昇などに合わせて毎年増額されていくためです。国民年金では、年金給付額の3分の1が国庫補助されており、加入期間短縮による特例加算部分については、さらに手厚い国庫補助が行なわれていますが、それでも改正後の年金をまかなうために必要な保険料、8,000円程度になります。

このようなことから、保険料の額が改正されますが、皆さんのご理解と、ご協力をお願いいたします。

(2)組合等の損害評価委員会が部落ごとに採取調査をし、部落間に評価の不公平が生じないよう組合内の減収量(当初評価高という)を決めます。

(3)組合等の報告を受けた農共連は、県内の各組合等へ行き、実測や見回り調査などをして各組合等の損害評価の公正、均衡化を図ります。

(4)農林水産省では、連合会の報告を受け、農林統計情報部の調査による各県の減収量と照合し、認定を受けて、初めて正式の損害(減収量)が決まることとなります。

このように何段階ものチェックにより、公正な評価が行なわれる仕組みになっています。

連合会の損害評価会にかけ、県内の減収量(連合会当初評価高)とし、農林水産省に報告します。

農林水産省では、連合会の報告を受け、農林統計情報部の調査による各県の減収量と照合し、認定を受けて、初めて正式の損害(減収量)が決まることとなります。

また、早期支払いが切望されていた被災農家の頼みの綱である農業共済金六億二千三百万円が年内に支払われ、天災資金、自作農維持資金が合わせて二億四千万円

二年続きの冷害は、町が推進してきた水田利用再編対策にも響き、団地化転作に伴う互助金の拠出も困難なものとなり、町では冷害対策費として二千万円を助成しました。

二年続きの冷害は、町が推進してきた水田利用再編対策にも響き、団地化転作に伴う互助金の拠出も困難なものとなり、町では冷害対策費として二千万円を助成しました。

緊急就労対策では延べ三百人、事業費で八百五十万円が支払われました。

このように二年続きの冷害で今年にける期待は大きく、そのためにも町の対策として、農家の農業に対する意識の転換、他方本願を排除し、自立心の強い農業経営者を育成していく方針です。

自立心の強い農業経営者に



共済金は十二月中に支払い

天災資金

自作農維持資金は

二億四千万円

万円の貸付けされるほか、県の種もみ確保・助成に加え、町単で一キロ五十円を助成します。

工藤儀一郎	工藤 勝雄	中谷 定雄	成田 亀逸
小林 長一	近藤 仁	中元 一広	成田 隆盛
今 金蔵	今 義孝	成田 清明	夏坂 庄二
沢田 茂	沢田 政孝	中村美智男	中谷金四郎
佐々木辰造	笹 昭夫	中谷 秀八	西村 節男
佐野 洪	沢田 由男	西村 昭八	新岡 慶一
白川 峰雄	白川 徳政	野呂 正	花田 一
白川 竹治	白川 照男	原田 一実	花田 征五郎
白川 清正	白川 清一	藤本 靖	福井 豊
白川 藤四郎	白川 常一	福山 光延	前田富美衛
鈴木 喜司	須崎 由美	前田 清克	正木 繁治
其田 豊一	相馬 京子	三浦 金蔵	三橋 教男
竹内 武六	田村 厚三	森 敏夫	山垣 興三
田村 雄三	田村 豊蔵	山中 満	山田 勝見
田中 勇治	対馬 兼正	山中 幸蔵	山中 正津
津島 正次郎	津島 幸雄	山田 篤之	吉田 米逸
津島 多七	寺山 芳松	吉田 米五郎	吉見 善七
寺田 嘉吉	徳田 順悦	吉田 清作	吉田 登志一
鳴海 義男	鳴海 健吉	米谷甚九郎	(アイウエオ順、敬称略)
鳴海 等	中谷藤太郎		



おむつ作りに汗を流す団員

# 丹精込めておむつ作り

金木町日赤奉仕団(相馬京子委員長、団員四百九十五人)は去る一月二十七日、特別養護老人ホーム「あしの園」を訪れ、お年寄りたちにプレゼントするおむつ作りに精を出し喜ばれました。

同奉仕団は毎年、「あし

の園」や中里町の「静和園」に約四百枚のおむつをプレゼントしており、そのため農閑期の暇を見つけてはおむつ作りに励んでいるもの。この日も二十人の団員が持ち寄った古布などでおむつ作りの奉仕をしました。

同奉仕団があしの園や静

和園を慰問する際は、民謡や手踊りなども披露し、お年寄りたちの心を和ませるとともに、地域の社会福祉活動にも一役かかっています。このほか、春、秋のクリン作戦への参加、定期的な救急法の講習会を開くなど、住みよい明るい町を願いながら活動を続けていきます。

## まちの話

# 「交通安全は家庭から」

## 交通ルールを守る運動 研究協議会

「交通安全は家庭から」と去る一月二十六日、中央公民館で交通ルールを守る運動研究協議会が開かれました。これは、あすを拓くあすなる県民運動推進協議会交通ルールを守る運動

部会が主催したもので、町民約百五十人が参加しました。

会はず、主催者側を代表して間宮安子同会交通ルールを守る部会副部長があいさつ、そのあと田中町長が「交通事故は日常生活と密接なかわりがあり、そのためにも家庭の主婦が中心となって交通安全に関心を持つような会話をしてほしい」と激励しました。また、昨年一年間の金木警察署管内の交通事故発生概況について説明があり、このあと作家・小田原金一氏が「交通安全は家庭から」と題した記念講演を行いました。



講師の話に聴き入る参加者たち

午後、交通事故で息子を失った母親の悲しみを描いた映画「母の悲しみ」を鑑賞。続いて主催者と参加者に分かれて家庭の交通安全について意見発表や質疑応

答が行われ、児童・生徒の道路横断、自転車通学など子供たちの交通マナーの徹底、さらにはお年寄りたちへの安全指導の仕方などについて家庭の果たす役割を強調していました。

## 町のわだい



# 「鬼は外! 福は内!」

2月3日は節分の日、各地で豆まきの行事が行なわれました。上の写真は第2保育所の豆まきの様子です。

## 三十周年記念に額を寄贈

### 金木俳句会「砧吟社」

たちの心をなごませていただきます。

金木俳句会「砧吟社」平井機炎会長、会員十五人は発足三十周年を記念し、金木町老人福祉センターに俳句を書き連ねた額を寄贈しました。

額には去る五十五年六月、当町で開かれた第十回県下金木俳句大会の入賞句五十首がずらりと書かれており、同センターを訪れるお年寄り



### 戸籍の窓



## おめでとう

(12月)

桜井 孝行(孝) 金木  
 田中 憲央(昇) 〃  
 泉谷健太郎(幸男) 川倉  
 沢田 綾子(良美) 金木  
 其田 帆波(秋夫) 嘉瀬  
 三上 優佳(友彦) 喜良市  
 成田和歌子(加志美) 中柏木  
 夏坂 和史(政秀) 金木  
 柴田 響(伸一) 〃  
 加賀田陽介(幸一) 〃

(1月)

黒川かな子(慶治) 嘉瀬  
 白川麻美子(忠治) 川倉  
 吉村 匡史(隆次) 中柏木  
 花田 孝志(享一) 嘉瀬  
 佐藤 弘樹(弘光) 〃  
 津島 早紀(伸治) 金木  
 鳴海 修也(尋文) 〃  
 鳴海 幸司(勝利) 嘉瀬  
 今 真佐子(文雄) 喜良市  
 棟方 和総(清春) 嘉瀬

鎌田 孫文(孫春) 嘉瀬  
 白川 拓広(裕真) 時田  
 松坂 結(司) 金木  
 山中 久城(久史) 嘉瀬  
 成田 卓弥(勸) 金木  
 黒川 健太(悟) 喜良市  
 鳴海 智景(京一) 金木  
 古川 裕記(隆雄) 喜良市  
 前田 正樹(憩) 神原  
 前田 直樹(〃) 〃

田中竜之介(英三) 金木  
 鳴海 祐美(一三) 嘉瀬  
 津田奈央子(均) 〃  
 山中 珠美(新) 〃  
 阿部 倫子(清隆) 金木  
 花田 公(悟) 嘉瀬  
 松川 慎吾(幸憲) 〃  
 原田 幸樹(照彦) 中柏木  
 徳田 悟志(重夫) 時田  
 津島 明子(正治) 金木  
 鳴海 裕樹(嫡雄) 嘉瀬  
 白川 竹彦(武) 金木  
 吉岡 創(恵一) 〃

## おしあわせに

(12月)

柳谷 敏彦(光雄) 三廢村  
 田中 優子(正明) 時田  
 田中 修二(美智雄) 金木  
 吉松 房美(宗策) 東京都

## ご存じですか?

出生届は、日本国籍の登録、親子関係の登録、親子関係以外の親族関係の登録、権利の主体となる始期の登録、名の登録という大切なものですが、正当な理由がないのに、出生の日から

起算して十四日以内に出生届をしないと、三万円以下

立ち合った場合には、医師又は助産婦の作成した出生証明書を出生届に添付しなければなりません。

## 出生届について

の過料に処せられます。出生届の用紙は、町役場に備え付けてあります。

ださい。

詳しいことは、役場町民課にお尋ねください。



がいないのに、出生の日から

医師又は助産婦が出生に

白川 雄三(富雄) 時田  
 原田 淳子(蔵治) 埼玉県  
 前田 勉(清則) 神原  
 野中 昭子(登) 静岡県  
 黒川 秀紀(幸雄) 川崎市  
 成田 礼子(平三) 藤田県  
 原田 豊(喜一郎) 嘉瀬  
 工藤むつ子(正見) 金木  
 戸田 遊(一) 嘉瀬  
 蛸島 洋子(宏) 山形県  
 白川 浩治(浩一) 金木  
 初沢ゆう子(政春) 愛知県  
 須崎 勝美(藤太郎) 嘉瀬  
 弘子(千代治) 喜良市  
 福長 敏雄(重雄) 金木  
 山崎 紅美(定四郎) 森田村  
 白井 勇(健治郎) 東京都  
 角田美智子(鉄男) 金木  
 古川 玉夫(佐吉郎) 喜良市  
 田中恵美子(春光) 北海道  
 高橋 勉(重蔵) 五所市  
 佐藤紀恵子(欣一) 時田  
 三上 弘一(義仁) 中里町  
 伊藤まつ子(定次郎) 金木  
 山口 芳春(芳郎) 山形県  
 黒滝イリ子(定則) 藤田

三上 直子(茂) 中里町  
 古川 直子(定光) 喜良市  
 伊丸岡 晃(昭三) 喜良市  
 齊藤千花子(六雄) 嘉瀬  
 松川 征(清二) 嘉瀬  
 布川 圭子(直蔵) 秋田県  
 鎌田 正江(由正) 嘉瀬  
 福士あや子(正春) 中里町  
 三浦 武俊(竹雄) 金木  
 美馬真知子(正一) 北海道  
 田中 秀治(賢三) 時田  
 岩間 遺子(善明) 中里町  
 土屋 和律(五一) 金木  
 渡辺さとみ(義晴) 静岡県  
 杉林 幸彦(勇吉) 金木  
 飯田 秀美(孝一) 埼玉県  
 須崎 正輝(正之助) 嘉瀬  
 徳田美代子(富民衛) 金木  
 土岐 和代(喜代隆) 嘉瀬  
 大沢 由加(慶治) 嘉瀬  
 斉藤 徹臣(達衛) 稲垣村  
 三濁 友子(正行) 川倉  
 山形 宏(周一) 嘉瀬  
 近藤 祐子(功) 喜良市  
 米谷 猛(義雄) 喜良市  
 斉藤美栄子(健逸) 木造町  
 山口 教男(修一) 喜良市  
 浜館恵美子(義信) 五所市  
 三上 義正(政次郎) 板柳町  
 秋元 キシ(万蔵) 川倉  
 前原 欣治(省一) 栃木県  
 斉藤 幸子(弘徹) 嘉瀬

三上 勇(37歳) 喜良市  
 白川 くに(92歳) 時田  
 和田 ヨコ(72歳) 金木  
 大橋勇一郎(82歳) 〃  
 木村 ヨシ(64歳) 嘉瀬  
 角田 豊吉(53歳) 金木  
 小野 リセ(78歳) 〃  
 古川市四郎(73歳) 喜良市  
 原田 さみ(77歳) 中柏木  
 棟方末太郎(76歳) 喜良市  
 今 リヤ(81歳) 〃  
 鳴海 忠久(57歳) 嘉瀬  
 津田 タエ(52歳) 〃  
 白川 健造(67歳) 川倉  
 伊藤 民弥(70歳) 嘉瀬  
 黒滝健治郎(63歳) 金木  
 千田スツノ(80歳) 〃  
 角田 リサ(86歳) 〃  
 中谷 リツ(54歳) 川倉  
 沢田 義臣(40歳) 金木  
 木下サクラ(78歳) 嘉瀬  
 山中 ミツ(78歳) 〃  
 黒滝イツ子(30歳) 〃  
 田中 牧子(32歳) 時田  
 田中 清一(69歳) 〃  
 藤元 利栄(71歳) 金木  
 奈良 マユ(82歳) 〃  
 鈴木 純一(25歳) 〃  
 奥野万四郎(60歳) 〃

## おくやみ

(12月)

# お知らせ

## 交通事故の 相談は気軽に

被害者にも加害者にも大きな負担をもたらす自動車事故は、決して起こしてはならないものです。

しかし、もし起きてしまったら…そんなとき、信頼できる相談相手のないことほど心細いものはありません。

社団法人日本損害保険協会では「自動車保険請求相談センター」を設置し、強制保険・任意保険を問わず交通事故の解決方法等の相談に応じています。

相談は一切無料ですから、気軽にご利用ください。

### 〈開設場所〉

青森市長島2丁目10番4号（ヤマビル8階）青森自動車保険請求相談センター

☎0177-22-1023番へ

### 〈相談時間〉

- 平日 9時30分から16時30分
- 土曜日 9時30分から12時

## 昭和57年度入学者募集

県立弘前高等学校通信制では、昭和57年度も向学心のある方々の入学を望んでいます。

出願日は3月3日から4月7日までですが、学習方法その他詳しいことは下記へおたずね下さい。

入学案内及び出願用紙については120円切手同封の上ご請求下さい。なお希望する科目だけを勉強したい方や、就学前の子供さんがいるために入学をためらっている方も下記にご相談下さい。

弘前市大字新寺町1番地  
青森県立弘前高等学校通信制  
☎0177-32-9424

## 献血にご協力を！

こまったときのため、こまっている人のために皆さんのご協力をお待ちしております。

- 日時・場所  
昭和57年3月8日（月）  
午前10時30分～正午まで 金木町役場前  
午後1時30分～2時20分まで 公立金木病院前  
午後2時30分～3時30分まで 自動車学校前

## 離乳食実技指導

- 受付日時  
3月10日（水）  
午前9時30分～10時
- 場所  
役場3階 保健相談室
- 対象  
昭和56年7月、8月生まれの乳児をお持ちの保護者

## 乳幼児の健康診査



乳幼児の健康診査を次の日程で行います。該当する乳幼児には、必ず受診させるようにして下さい。

### 3カ月児健康診査

- 受付日時  
3月18日（木）  
午後1時～2時
- 場所  
公立金木病院 小児科
- 対象  
昭和56年12月生まれ

### 1歳6カ月児健康診査

- 受付日時  
3月18日（木）  
午後12時40分～1時
- 場所  
公立金木病院 小児科
- 対象  
昭和55年9月生まれ

## 恵まれない人にと お年玉3,000円

嘉瀬本町、教員鳴海等さんの長女友香さん（南中1年）、2女あゆ子さん（嘉瀬小6年）、3女新子さん（嘉瀬小3年）の3姉妹はさる1月9日、お年玉の1部の現金3,000円を町社会福祉協議会に寄託しました。

## 児童生徒の明るい選挙啓発標語集 ⑤

- 正しい人をみんなで選ぶよい選挙 ..... 嘉瀬小6年 鳴海 あゆ子
- 正しい人に気持のこもった一票を ..... 〃 伊藤 由紀子
- いい人選んで明るい町づくり ..... 金木中3年 中谷 睦美
- あなたの一票に悪の手が伸びる ..... 〃 長尾 吉洋